

『市内に美麻市(伊)誕生！』

地域活性化の具体的な活動として、交流をキーワードとした誰もが気軽に参加できる市(伊)を開設します。その名も



『シ』or『イチ』どっち？

美麻市(伊)は、美麻市(シ)とも読める。ならば、洒落て大町市の中に新市を誕生させてみよう！

目指すは交流人口 5万人の交流市

美麻市では、新市誕生に必要な準備を進めています。

- ①イチ長の選出
- ②イチ役所の設置
- ③イチ民票の発行
- ④イチ章の公募 など、すべてをイベント化してみんなで楽しみましょ。

いつできるの？

美麻の村政施行から135年目となる平成22年4月1日に設立記念式典を行い、平成22年4月4日(日)に記念イベントを開催する準備を進めています。



みんなで楽しむ！

美麻市の運営方針は、交流を中心とした新しい産業を創出するため、誰もが気軽に参加し、とにがく楽しむことを目標とします。企業秘密なので多くは語れませんが、内容を少しだけ予告します。

市章デザインコンテスト開催

美麻市のトレードマークとしての『市章』を公募します。受賞デザインには副賞のほか、市民証第1号が贈られます。

新たな農業スタイルの提案

後継者不足による農地荒廃を防止するため若い世代が気軽に農業に関心を持てるスポーツ農業を提案します。

近日開店、農作業カフェ

新たに農業を始めたい方に、熟練のプロがお茶飲み話で農作業のツボを伝授します。

平成22年1月より市民募集開始

詳しくは、ホームページ『美麻Wiki』でお知らせします。

<http://miasa.info/>

美し村再生のキーワード 4つの人口と5つのプロジェクト

美し村を再生する 4つの人口

人口減少時代の地域再生は、地域に住む人だけで可能でしょうか？

そもそも、住民とはどんな人でしょうか？

計画の策定に際して、美麻地区の住民を4つの人口で構成することにしました。

- ①定住人口、②交流人口、③二地域居住人口、④情報交流人口

1. 定住人口：美麻地区に生活の根拠を置く人
2. 交流人口：観光や仕事などで美麻を訪れる人、美麻地区出身者、地域に縁のある人(山村留学卒業生、姉妹都市メンドシーノの人達等)
3. 二地域居住人口：自宅と美麻地区の両方で生活する人(市民農園利用者等)
4. 情報交流人口：広報誌やインターネットなどの情報媒体を通じて美麻地区の地域づくりに参加する人

美し村開拓団入植プロジェクトは、美麻地区に係わる多くの人の参加により地域の活性化に取り組んでいきます。

美し村を再生する 5つのプロジェクト

美し村開拓団入植プロジェクトは、

- ①交流人口の増加、②伝統文化の継承、③定住人口の増加、④地域の産業振興、⑤農村風景農地の再生

を目標とする5つのプロジェクトを体験ワークショップを中心に展開していきます。



交：美麻の情報を積極的に発信し、交流人口の獲得により、地域を活性化させます。

伝：地域の伝統文化を保存、継承する活動を通じて、地域の人材育成に努めます。

住：様々な交流を通じ美し村開拓団員を募り、美麻地区の定住人口を増加させます。

興：特産品の研究開発を通じて、地域の産業を振興させます。

再：遊休荒廃地の活用や復元を通じて、地域の景観形成を促進させ、農村風景、農地を再生します。